

10/18 実りの秋 マコモタケを収穫・調理！

子どもたちが田んぼに入り、植えて育てて食べるという農業体験が三芳地区で行われました。地域の小中学生など約150人が参加し、5月に植えたマコモタケを収穫。収穫したばかりのマコモタケは東予農村環境改善センターで調理され、野菜ソムリエの森さんからマコモタケの魅力を聞きながら、みんなで試食しました。



参加者の皆さん



▲ 収穫の様子



▲ マコモタケの説明

10/25・26 「新幹線生みの親・十河信二」写真展 10/26 「鉄道員(ぼっぼや)」朗読会



▶ 情感のこもった朗読



▶ 写真展の様子

“西条市総合文化会館”“四国鉄道文化館”文化交流イベントとして、ひとりごたりをライフワークに各地で公演をされている女優の渡辺小百合さんによる、浅田次郎の直木賞受賞作品「鉄道員(ぼっぼや)」の朗読会を開催しました。渡辺さんの情感あふれる語りに館内は感動につつまれていました。また、朗読会の開催に併せて、西条市名誉市民であり、「新幹線生みの親」と呼ばれている、第4代国鉄総裁の故十河信二氏の写真展も開催しました。

10/26 スポーツの秋 手軽に運動を楽しむ

市民の交流や体力の向上を図ることを目的に、子どもから大人まで世代を超えて軽スポーツを楽しむ、第7回西条市レクリエーション大会を東予運動公園で行いました。

当日は、綱引き、なわとび、べいゴマや永納山ウォークなど多くの種目が行われ、今年から始まった乗馬体験も好評で、子どもたちの順番待ちの列が続いていました。



▶ 楽しそうに運動する参加者

▶ 今年初め目見えの乗馬

10/25 力作がずらり 丹原高校菊花展



丹原高校で園芸科学科の皆さんが育てた菊、約1500鉢を展示販売する同校の伝統行事である菊花展が開催されました。

生徒たちが丹精込めて育てた懸崖や大輪菊などの鉢が並び、多くの市民や保護者の方々などがその出来栄に驚嘆しながら、お目当ての菊を品定めしていました。

10/26 第32回全国育樹祭で育樹活動をPR!



枝打ち作業の様子



参加者の皆さん

「育てよう緑あふれる日本の未来」をテーマに、松山市を主会場に第32回全国育樹祭が開催され、サテライト会場となった小松町の市有林では、「石鎚水源の森くらぶ」の会員を中心に約80人の方々が枝打ちなどの育樹活動を行い、その様子が式典会場(愛媛県武道館)の大型ビジョンに生中継されました。石鎚水源の森くらぶの皆さんは、ボランティア活動のPRも行い、森林整備の重要性や今後の活動に向けての意気込みを熱く語られていました。

10/19 第8回 西条山のまつり



▶ 元気はつらつ運動会



▶ 伝統を受け継ぐ獅子舞

過疎化が進む山村の振興を目的に、山村住民間の交流および都市住民との交流を図り、山村地区の現状と活性化の必要性の理解を深めてもらう、恒例の「山のまつり」が石鎚ふれあいの里で開催されました。

当日は天候にも恵まれ、大保木地区運動会、獅子舞や太鼓踊りなどの伝統芸能、加工品販売などに多くの市民が訪れ、日頃静かな山里は一日中賑やかな歓声に包まれていました。

11/2 懐かしい旧国鉄急行色の気動車が西条へ

国鉄時代から活躍していた「キハ28・58・65形式」気動車が、JR四国管内において10月15日に営業運転を終了したことに伴い、キハ58・65形式各1両のリバイバル運転があり、伊予西条駅到着時間の14時30分には多くの鉄道ファンが駅構内に詰めかけました。この車両のうちキハ65形式車両は、12月中旬まで四国鉄道文化館駐車場に展示されています。ぜひご覧ください。



10/21 男女共同参画社会の実現に向けて



アビリティセンター株式会社代表取締役の三好潤子さんを迎え「自分らしく輝いて～自らの想いと行動は周りに反映する～」をテーマに講演会とフリートークを行いました。

相手の長所を見つけ、苦手意識を持たず、男性も女性も仕事や家庭、地域において何にでも積極的にチャレンジし、自分らしく生きていくことが大切という先生のお話に、参加者は深く聴き入っていました。